



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場会社名 パルステック工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6894 URL <http://www.pulstec.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 幸博  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)坂倉 茂 (TEL)053-522-5176  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	1,394	△25.1	144	△58.0	156	△57.7	139	△58.4
27年3月期第3四半期	1,861	—	342	—	370	—	336	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 143百万円(△59.0%) 27年3月期第3四半期 349百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	10.22	—
27年3月期第3四半期	24.59	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	2,745	1,719	62.6
27年3月期	2,725	1,576	57.8

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 1,719百万円 27年3月期 1,576百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,900	△16.2	200	△41.7	210	△43.6	183	△45.5	13.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

- 新規 — 社 (社名) 除外 — 社 (社名)  
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期3Q	13,934,592株	27年3月期	13,934,592株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	239,883株	27年3月期	239,683株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期3Q	13,694,789株	27年3月期3Q	13,696,265株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
5. 補足情報	8
生産、受注及び販売の状況	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安や原油安に加え米国経済の好調維持による好影響により企業業績も総じて改善が見られたものの、中国経済の減速や資源価格の大幅下落に伴う悪影響などの懸念材料も多く、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、光ディスク関連では、昨年の特需による設備投資は一段落しましたが、4Kテレビやアーカイブ用途につきましては、新規設備投資や既存設備の改造など具体的な動きが出ております。

自動車関連につきましては、積極的な設備投資の傾向は維持されており、総じて良好な受注環境で推移いたしました。

このような状況のなかで当社グループは、受注確保に向けて国内外の販路の拡大や、顧客との接触機会を増加させる活動を展開するとともに、さらなる原価の低減に注力いたしました。

ポータブル型X線残留応力測定装置につきましては、国内外の展示会への出展、顧客訪問によるデモンストレーションの実施、大学や研究機関への装置の貸出し、学会での講演、計測サービスや装置レンタルに加え、海外代理店との連携強化を図るなどの積極的な販促活動により、概ね良好に推移いたしました。

光ディスク関連機器・装置につきましては、前期の特需が終了したことから大幅な減収となっておりますが、それらを加味した当初の見込みとの比較においては、良好に推移いたしました。

3Dスキャナ関連につきましては、自動車関連業界向けを中心に堅調に推移いたしました。

ヘルスケア関連につきましては、平成27年8月18日付で医療分野における品質マネジメントシステムの世界標準規格である「ISO13485」の認証を取得し、社内体制の整備を概ね完了したことから、ヘルスケアや医療機器関連分野の新規顧客の早期獲得に向けて、積極的な営業活動を展開いたしました。

以上の結果、受注高は14億66百万円（前年同期比2.1%減）、売上高は13億94百万円（前年同期比25.1%減）となりました。

損益面につきましては、営業利益は1億44百万円（前年同期比58.0%減）、経常利益は1億56百万円（前年同期比57.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億39百万円（前年同期比58.4%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて19百万円増加し、27億45百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が1億64百万円増加し、現金及び預金が1億26百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて1億23百万円減少し、10億25百万円となりました。これは主に、短期借入金が50百万円、未払法人税等が39百万円、1年内返済予定の長期借入金が39百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて1億43百万円増加し、17億19百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、本日発表の「平成28年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、平成24年3月期に主力事業の受注環境が著しく悪化したことにより大幅な売上高の減少に至ったため、継続企業の前提に関する重要事象等が存在する旨を記載するとともに、早期解消に向けて種々の対策を講じてまいりました。

今までに実施した主な対策は次のとおりであります。

### ① 受注の確保

引合い案件を倍増させる営業活動、既存顧客への深耕営業、売れ筋製品に的を絞った営業展開、今後の主力であるポータブル型X線残留応力測定装置への経営資源の投入、付加価値の高い計測サービスや受託実験等の積極受注

### ② 材料費及び外注費の低減

作りやすさを追究した設計、使用部品の変更や購入方法の見直し、あらゆる面からのコストダウン

### ③ 新規事業の早期立ち上げ

医療機器製造業許可証取得、医療分野における品質マネジメントシステムの世界標準規格である「ISO13485」の認証取得、医療機器の受託開発から生産までの社内体制の整備、医療分野での新規顧客の獲得、今後の成長が見込める分野への積極展開、大学や研究機関との連携強化

### ④ 人件費、その他諸経費の低減

希望退職者の募集、他社への出向・派遣、人事制度改革、給与・諸手当・退職金を含めた給与体系の見直し、出張旅費規程の改定、水道光熱費・通信費等の見直し

以上の対策を実施したことにより、平成27年3月期は黒字転換し、平成28年3月期においても売上高19億円(前年同期は22億66百万円)、営業利益2億円(前年同期は3億44百万円)、経常利益2億10百万円(前年同期は3億72百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益1億83百万円(前年同期は3億36百万円)を見込んでおります。

今後においても安定した収益確保と財務体質の改善が見込まれることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性を抱かせる状況は認められないものと判断し、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を、解消することにいたしました。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	906,349	779,508
受取手形及び売掛金	535,560	700,335
仕掛品	283,877	243,772
原材料及び貯蔵品	72,793	64,084
その他	24,694	19,719
流動資産合計	1,823,275	1,807,419
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	300,756	298,635
その他(純額)	316,055	352,069
有形固定資産合計	616,812	650,704
無形固定資産	10,598	2,909
投資その他の資産		
投資その他の資産	330,166	324,727
貸倒引当金	△55,100	△40,200
投資その他の資産合計	275,066	284,527
固定資産合計	902,477	938,140
資産合計	2,725,752	2,745,560
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	102,477	110,653
短期借入金	100,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	157,812	118,129
未払法人税等	41,298	1,456
賞与引当金	55,664	27,171
その他	174,918	171,289
流動負債合計	632,171	478,700
固定負債		
長期借入金	104,556	129,130
退職給付に係る負債	411,557	417,415
その他	949	690
固定負債合計	517,062	547,236
負債合計	1,149,233	1,025,936

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,491,375	1,491,375
資本剰余金	1,099,653	1,099,653
利益剰余金	△862,110	△722,110
自己株式	△164,288	△164,325
株主資本合計	1,564,629	1,704,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,367	10,373
為替換算調整勘定	4,521	4,657
その他の包括利益累計額合計	11,888	15,030
純資産合計	1,576,518	1,719,623
負債純資産合計	2,725,752	2,745,560

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	1,861,215	1,394,571
売上原価	972,562	643,642
売上総利益	888,653	750,929
販売費及び一般管理費	545,756	606,858
営業利益	342,897	144,070
営業外収益		
受取利息及び配当金	634	709
為替差益	8,926	857
売電収入	-	4,439
貸倒引当金戻入額	19,501	14,900
その他	2,838	1,015
営業外収益合計	31,901	21,921
営業外費用		
支払利息	4,590	2,922
売電費用	-	6,337
営業外費用合計	4,590	9,259
経常利益	370,208	156,732
特別損失		
固定資産除却損	0	12
特別損失合計	0	12
税金等調整前四半期純利益	370,208	156,719
法人税等	33,391	16,719
四半期純利益	336,816	139,999
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	336,816	139,999

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	336,816	139,999
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,525	3,006
為替換算調整勘定	7,841	135
その他の包括利益合計	12,366	3,141
四半期包括利益	349,183	143,141
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	349,183	143,141
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

5. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
1,459,739	81.5

(注) 生産高は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績は、次のとおりであります。

受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
1,466,659	97.9	597,795	122.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
1,394,571	74.9

(注) 1. 主な相手先別販売実績及び総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	
	販売高 (千円)	割合 (%)	販売高 (千円)	割合 (%)
株式会社小坂研究所	158,303	8.5	161,502	11.6
Singulus Technologies AG	677,787	36.4	25,333	1.8

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。